

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	Linoぷれいす淀川					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		利用者の利用日を把握し、利用人数の調整を行っている。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		配置の基準を満たせるようにしっかりと調整を行っている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		クールダウンする部屋を設けたり、物の定位置をイラストや文字で視覚的に提示したりしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日朝方、スタッフ全員で清掃を行い、施設内をきれいに保てるよう意識している。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		学習スペース、遊びのスペース、クールダウンスペースなど空間を区切り落ち着いて過ごせるように配慮している。	
業務改...	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		事業所計画の設定や定期的な進捗の確認を社員全員で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者アンケートを実施し、それらを業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々のミーティング内容や個別での面談対応を行っている。	

善 9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		・同じ事業部での評価は行えているが、外部の意見を聞く機会を設けられていない。 ・外部の意見を部会等で聞く機会を設け業務の改善につなげていく。
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法人内での研修、施設内研修・勉強会、外部研修を定期的に行っている。	
適切な支援の提 11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		HPにて公開されている。	
	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者・子どものニーズを聞き取り、計画を作成している。	
	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員間で意見を共有する時間を設けている。担当者会議を実施し検討を行っている。	
	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画を共有する時間を設けている。	
	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の状況を観察し、職員全員でアセスメントを行っている。	
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	適切に設定されている。	
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		スタッフ間で話し合いを行いながら、個々のニーズに合わせてカリキュラムを作成している。	
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		同じカリキュラムにならないように、スタッフ間で話し合いを毎日実施している。	

供 係	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		利用者の状況に応じて、個別、集団を組み合わせた計画、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝前日の振り返り、当日の動きの確認を行い、共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3	支援終了後でなく、翌日に打ち合わせや支援の振り返りを行い、工夫している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		トラブルやケガ、小さな変化や成長、保護者との会話の記録を残し、共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に一回、年二回のモニタリングを実施している。また、必要に応じて計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		ガイドラインに基づいて、組み合わせた支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		支援者が選択をする、決定をするのではなく、利用者に選択してもらう機会を設けている。そういった内容のカリキュラムを実施している。	
関 係 機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		当日までに、スタッフ間でモニタリングを行いまとめて、サービス担当者会議に参加を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		相談支援、市役所、訪問看護、学校など様々な関係機関と共有を行い、一貫した支援が行えるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		電話やお迎え時に面での共有、カンファレンスでの共有を定期的に実施している。送迎時の対応や事故発生時の対応に関して社内研修でマニュアルを作成し、どの人でも対応できるようになっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	相談支援事業所、保護者と利用開始前に情報の共有を行い、事前に利用者の把握をしっかりと行っている。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	該当する児童がまだおりません。	・該当する利用者が出了ときにために様々な福祉サービスの方と繋がりを構築しておく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイトや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		今後、必要に応じて研修を受ける機会を設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		近隣の放デイとの合同イベントや社会福祉協議会と協力し、地域の人と交流する機会を設けている。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4		事業所長が参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の送迎時や面談時に成長した様子や出来事、新たに見えてきた課題などを伝えている。また、連絡帳やLINEにて情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		・保護者同士の交流できるイベントや研修を今後考案し、実施する。 ・スタッフの専門性を高めるために、研修への参加を行う。 ・情報の提供をSNSや公式LINEを活用し提供を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っている。	
保護者への	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者のニーズ、利用者の意見をもとに作成を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		全家庭に必ず確認を行っていただき署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・必要に応じて家族支援を行っている。 ・相談に対して迅速に面談の時間を設けたり、必要に応じてアドバイス等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	保護者が顔を合わせる機会はあるが、交流をしっかり行えるような環境の提供がまだできていない。	今後、交流できるイベントを実施し、保護者同士が交流できる場を作っていく。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情の件は0件ではあるが、要望に対しては誠実な対応を心がけている。	苦情があった場合には、迅速に対応を行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ホームページやSNSでの発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		保管は児童の入ってはいけない場所や手の届かないところに保管を行っている。スタッフは閲覧は自由であるが、事業所外に持ち出すことは不可となっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		様々なツールを用いて、情報の伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		法人が主催となり、地域住民を招待できるイベントを実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	対応マニュアルを策定し、定期的に訓練を実施している。またその共有を保護者に周知を行っている。	全保護者に周知ができないないため、今後全保護者に周知できるように案内していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し、訓練も実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時にアレルギーや服薬していることの確認を行っている。必要に応じて対応を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3	把握は行っているが、指示書に基づく対応は該当する児童がないため対応できていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・研修、訓練の実施、環境の整備を適的に行っている。 ・安全計画を作成し、どれに基づき業務をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4		契約時やSNS等を活用し、今後周知を行っていく。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事例があった際には、記録を必ず残しその度に再発防止策を考え改善を行っている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防鼠の研修を定期的に行っている。 ・社内に虐待防止委員会が設置されている。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	契約時に十分な説明を行い、同意をえている。	